

事務事業名	縁組対策事業				担当	健康福祉部 三つ子の魂育成推進室	
政策名	H	施策体系外			電話番号	0285-83-8157	
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 14年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	3.民生費	2.児童福祉費	1.児童福祉総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	真岡市縁組センターに登録されている結婚相談員による結婚相談事業。 1 真岡市青年女性会館において月2回の結婚相談員による情報交換と結婚相談 2 芳賀地方広域結婚相談情報交換会への参加 3 結婚相談員による各目的の活動（相談と情報の提供） 4 研修会の開催 5 婚活イベント等開催						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 ・結婚相談員による月2回（第1水曜日、第3土曜日）結婚相談と情報交換会 ・婚活イベント 3回開催 ・結婚相談員研修会 ・芳賀地方広域結婚情報交換会、研修会参加 25年度計画 ・前年度同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 21年度(実績) 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(見込) ア 情報交換会 回 19 17 18 18 20 イ 婚活イベント 回 2 3 3 3 3 ウ 結婚相談員数 人 25 25 27 25 24 エ オ
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・市内の結婚希望者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 21年度(実績) 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(見込) ア 情報交換回数 件 247 135 135 102 120 イ 婚活イベント参加者 人 70 56 68 69 60 ウ 結婚相談登録者数 人 143 192 191 189 200 エ オ
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・結婚希望者への支援によって結婚を成立させ、少子化に対応する。出会い 結婚 出産	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 21年度(実績) 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(見込) ア 見合い件数 件 85 85 50 50 60 イ イベントカップル成立数 組 9 5 10 11 10 ウ エ オ
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・家族の形成と少子化対応	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 21年度(実績) 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(見込) ア 婚姻成立件数 件 3 1 4 3 5 イ ウ エ オ

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金 千円	0	0	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0	0	0	
		地方債 千円	0	0	0	0	0	
		その他 千円	0	0	0	0	0	
		一般財源 千円	464	351	451	423	0	
	事業費計(A)	千円	464	351	451	423	0	
	人件費	正規職員従事人数 人	2	2	2	2	0	
		延べ業務時間 時間	540	540	540	540	0	
		人件費計(B)	千円	2,190	2,305	2,291	2,269	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,654	2,656	2,742	2,692	0

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・昭和61年以前は、農業後継者縁組対策委員会（事務局農林課昭和47年～60年）で農業後継者を対象に縁組活動をし、工業団地管理協会結婚相談所では会社員を対象に活動していたが、社会情勢の変化により、職業に関係なく全市民を対象にした真岡市縁組センターが発足された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・結婚観や価値観の変化、景気の悪化から雇用不安などがあり急速な晩婚化、生涯未婚率の上昇が進んでいる。 ・一方では、積極的に結婚活動をしている人や娘息子の結婚を望む親の姿がみられるが、結婚後の生活などを考えて、結婚相手への好条件を望みなかなか結婚相手を決められない女性や、コミュニケーション力がなく女性に気持ちを伝えられない男性が増えて、出会いを何度繰り返しても成婚まで結びついていない。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・婚活セミナーに参加して、自分の外見、内面を見直すきっかけになった。また、女性と話し合うことができ、次へのステップとなった。（婚活イベント参加者男性） ・個人情報の管理をしっかりして欲しい。（登録者） ・結婚は個人の問題なので、民間の結婚相談所などを利用して、縁組事業はやめてもいいのではないか（23年常任委員会）

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・出会い 結婚 出産 少子化対策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・結婚希望者に出会いの場提供しているため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・市内の結婚希望者を対象とし、結婚成立を意図としているので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・情報交換をしたり、婚活イベントをしたりして積極的な活動をしている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・結婚相談業務がなくなると、出会いが少なくなり少子化につながる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・婚活イベントの飲食代などは、参加者負担としている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・最少の人員で対応しているので、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・全市民を対象としているので公正公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							